

## 別記様式

## 会 議 録

会議の名称	令和元年度 第8回 栃木東部地域会議
開催日時	令和2年1月29日 開会18時30分 閉会20時20分
開催場所	栃木市大宮公民館 大交流室
出席委員氏名	大橋 哲夫、大武 真一、大山 恵久、柏崎 桂二、柏崎 章吉、島田 研、 藺田 弘子、竹澤 克元、内藤 實、中澤 健次、中村 康子、藤本 紀子、 穂坂 孝司
欠席委員氏名	出井 康夫、千葉 将人、渡辺 裕
事務局職員職氏名	栃木東部地域まちづくりセンター所長兼国府公民館長 中嶋 美佐、 大宮公民館長 大橋 勝造、国府公民館主査 田中 賢太
その他出席者等	
会議事項	・地域予算提案事業について ・その他
会議の公開又は 非公開の別	公開
傍聴人の数	0人
その他必要事項	
会議の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
	<b>1 開会</b>
	中嶋 センター所長
	<b>2 会長あいさつ</b>
	大橋哲夫 会長 <p>昨年主な決定事項として、令和2年度で予算を提案することとしました。皆様から提案のあった事業について現地視察するなど、少しずつ方向づけがされてきました。事務局の考えでは、今回の会議で事業の目途を付けて、東部地域会議だよりを発行して地域の皆様からの意見をお聞きすることを予定しています。出来れば今回の会議で目途が付けられればと思います。よろしくお願ひします。</p>
会長 センター 会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本日の出席委員数をセンターから報告願ひます。</li> <li>・栃木東部地域会議の只今の委員総数は16名のところ、本日の出席委員は13名です。なお、千葉委員、渡辺委員につきましては所用により欠席とのご連絡がありました。以上ご報告いたします。</li> <li>・過半数の出席ですので、本日の会議は成立している事を確認しました。</li> </ul>

3 新任委員紹介及び委嘱状交付	
センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回会議で、民生委員の任期終了に伴い荒川委員が退任しましたが、新しく栃木市民生委員児童委員第12区副会長になられました中村康子さんに後任をお引き受け頂きまして、今回よりご出席頂いております。それでは委嘱状をお渡しいたします。中村委員から一言お願いします。</li> </ul>
中村委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よろしく申し上げます。</li> </ul>
4 議事	
	<p><b>(1) 地域予算提案事業について</b></p>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・センターより説明をお願いします。</li> </ul>
センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【資料により地域予算提案事業について説明】 現在検討している5事業の概算額を合計すると685万円になり、予算額を70万円程度超過するので、事業案を絞る事を検討してほしい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財への看板設置についての文化課回答において、「設置候補地は遺跡の範囲内であるため、設置に当たっては十分な配慮が必要となります。」とあるが、具体的にはどういう事か。</li> </ul>
センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設置候補地が埋蔵文化財包蔵地であるという事で、掘削する際に埋蔵されているかも知れない文化財を破壊することが無い様、事前に学芸員による確認作業を実施するなどしてから、工事することであると思われる。設置してはダメという事ではない。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路を拡張した際に、埋蔵文化財センターによる発掘調査を実施しているので、結果が出ているはずである。</li> </ul>
センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回会議で要望のあった大規模な看板は、前述した理由から実現は難しいことから、市の公共サインガイドラインで定める大きさの看板で良いか検討してほしい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約については複数社から見積書を取る等行い、価格競争してほしい。市税の有効活用をするためにも1社随意契約は止めてほしい。詳細な見積書を取れば5事業案でも予算額に収まるのではないか。</li> </ul>
センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでもお話していたとおり、今回会議で事業を3～4案程度に絞り、地域会議だよりに掲載し、地域住民に諮る事としていましたので、案の削減を図りたい。契約については、地方自治法や市財務規則に基づき各課で執行する事になる。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検討している5事業は、我々が要望した事業である。学童保育の概算額は400万円だが、購入備品の数を減らすなどして、全5事業案を残したらどうか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大宮北小の学童保育は整備しないのか。視察した際に、備品が老朽化している様に感じた。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援課を通じて、大宮北小の学童保育で備品を要望するか問い合わせたが、要望が無かった事がセンターから既に説明されている。</li> </ul>
センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回で実施事業を大方決め、その後に担当課と相談の上、購入する備品の細かい点等を詰めて、来年度10月に予定している市長への事業計画書提出に向けて事務を進めたいと思っている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大宮北小の学童保育は、建物は新しいが備品は古い。間に合っていると思うが、</li> </ul>

	<p>子ども達の利用も多く、備品は傷んでいると思うので、今回他の学童で購入するのであれば一緒にお願いしたい。利用する方からすれば、運営が市であるとか民間であるとかは関係ないので、保護者から不満が出ると思われる。</p>
センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>こちらから大宮北小は市営だから備品は不要であると言っている訳ではない事は理解して頂きたい。お伺いしたら、要らないと回答があったという事です。その点については、詳細を決める来年度の中で、再度大宮北小の備品整備について確認したい。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>心配するのは大宮北小へ整備をしなかった際に、利用者が大勢いる大宮北小をなぜ抜かすのかという声だと思う。できれば4学童保育への整備という事で進めたいので、センターから再度確認してください。その結果で3学童なのか4学童なのか考える事としたいと思います。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>確認だが、予算内であればいくつでも事業が出来るのか。</li> </ul>
センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>予算内であれば事業数の制限は無いので可能です。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>大宮運動広場備品購入事業だが、先日、広場に行った際に既存の古いプラスチック製ベンチが破損していた。センターから提案のあった大塚運動広場に整備したベンチと同じ製品ではなく、別の製品を要望したい。高齢者がベンチを移動させる事もあるので、出来るだけ軽くて丈夫な製品にしたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化財についてまだ疑問がある。栃木市は嘉右衛門町の伝建地区と、村檜神社を重点にしてお金をつぎ込んでいるが、それは政教分離に反しないのか疑問だ。また、教育委員会で「後世に残したい栃木市の文化資源48選」という冊子を作成したが、担当した各地区の代表は、選出した文化財の統一した案内看板を作成してほしいと思っているが、全然動きが無い。不満である。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>粗方意見は出たと思うが、他にご意見ありますか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>各事業案の詳細な見積書を出して、合計額が予算額を超過しているなら事業の縮小を含めて検討したら良いのでは。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通事故防止対策事業のスケアードストレイトについて、どのような事をするのか確認したい。自転車の乗り方が非常に悪く困っている。</li> </ul>
センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>スタントマンによる事故現場を再現し、交通事故の恐ろしさを理解してもらう取り組みです。具体的にはスタントマンが車に撥ねられて事故に遭う様子を再現したり、スマホのながら運転の危険性を中学生や高齢者に見学してもらう事業です。他の地域会議では継続事業として毎年中学校で実施しており、良い評判を得ているとのこと。当地域では、場所は東陽中学校を予定して実施したいと思いません。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>評判が良いとして多くの地域で実施しているのであれば、一回やってみると良いのでは。反響を聞いてみて、今後も継続するか検討したら良い。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>東陽中で実施するとかなり人数が多くなるので、屋内で実施できるか。</li> </ul>
センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>屋外の校庭での実施を想定しています。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>この事業のみソフト事業になるので、カタチとして後に残らないが。</li> </ul>
センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>その通りである。他4事業がハード事業であるのに対し、この事業のみソフト事業である。課題の一つとして認識している。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>3月に発行する地域会議だよりも全5事業案を掲載するとして諮りたいがよろし</li> </ul>

全委員	いか。 ・異議なし。
	<b>5 その他</b>
委員	・国府地区まちづくり協議会で「国府地区の歴史と文化マップ」という冊子を作成し、地区内に全戸配布しました。希望者がおりましたら、国府公民館にありますのでお知らせください。
	<b>6 閉会</b>